

ここが聞きたい!
いっぱん

質問

藤原和範 議員

ヘルスケア産業の ビジネス化は

町長 新産業創出に向け連携し
支援していく



平成27年度、奥出雲町はエゴマ栽培日本一の町となった。現在、奥出雲振興を中心に「エゴマ・温泉・運動・算盤」を組み合わせたヘルスツーリズム「奥出雲セラピー」を実施中であるが、今後どのように展開するのか、また、ヘルスケア産業のビジネス化の考えは。

このツーリズムは、プログラムを通して生活習慣病を予防し、認知症等の予防につなげ、健康志向の方や高齢者をターゲットに観光客・交流人口の増加を図り、雇用創出と収益を生むビジネスモデルだ。大人のそろばん教室は、高齢者交流サロンや介護予防教室、福祉施設等に取り入れることができないのか検討する。温泉でエゴマ料理を食べることも出来るようになった。課題はあるがビジネス化に向け動き出したところである。

ヘルスケア産業のビジネス化については、ツーリズムだけではなく、買い物支援や医師連携など多岐にわたる取り組みがあり、町としても、新産業創出に向け連携し、引き続き支援していきたい。

新しく組織を見直しスタートする観光文化協会の位置付けは、

新年度から専属のスタッフにより運営し、事務所はサイクリングターミナルに設置、土日・祝日にも対応する。観光振興施策の方向性や政策的な事項は、観光推進課を中心に企画立案し、協会が具体的に実行していく。

協会も独立し、映画「たたら侍」の公開も予定されている。この機会に、たたら本場・奥出雲町として、たたら資源等を活かした観光ツアーや体験ツアー等の旅行商品化を、もっと積極的に企画検討し、広く情報発信すべきでは。

国の地方創生加速化事業により、本町の「伝統産業、観光産業の振興事業」を加速させ、スピード感を持って推進していく。その中で、たたら製鉄を活用した観光振興に係る調査研究経費を計上している。これを活用して観光・体験ツアー等の旅行商品化を、関係の皆様と知恵を出し合い協議検討し、実現に向け努めていく。

総合戦略では、情報通信環境の優位性を活かして、IT企業にターゲットを絞った戦略的な企業誘致活動を推進するとし、既に企業合宿等の取り組みが進んでいる。企業合宿の誘致の状況、また今後の見通しは、

企業合宿の誘致には、モニターツアーにIT企業4社、助成制度活用企業2社。また、東京ではIT企業28社との交流イ



IT企業の企業合宿の様子

ベントを開催。今年度スタートしたばかりで、すぐに誘致とはいかないと思う。企業合宿をきっかけとして、町の良さ、奥出雲らしさをPRし誘致に繋げたい。

故郷出身者等による地道な企業誘致活動を、また、既立地企業の事業拡大に助成制度の検討を、

今後も引き続き、出身者は勿論のこと、ネットワークを広げ、情報収集に努める。助成制度については、現時点では、考えていない。既存制度を有効に活用していきたい。